

中尾美喜夫教授 略歴・業績目録

I. 略 歴

学 歴

- 1969年 3 月 関西学院大学 商学部 卒業
 1976年 3 月 大阪体育大学 体育学部 卒業
 1980年 9 月 神戸大学医学部研究生（1989年 8 月まで）
 1989年 5 月 医学博士（神戸大学 医博ろ第1081号）学位取得

職 歴

- 1969年 4 月 商社勤務（1973年 4 月まで）
 1977年 4 月 大阪経済大学教養部助手
 1982年 5 月 大阪経済大学教養部講師
 1987年 6 月 大阪経済大学教養部助教授
 1994年 6 月 大阪経済大学教養部教授
 2002年 4 月 大阪経済大学人間科学部教授
 1991年 4 月 米国ペンシルヴェニア州立大学 Human Performance 研究所 客員研究員
 （1992年 4 月まで）
 1992年12月 日本運動生理学会評議員
 1989年 4 月 大阪経済大学教養部長補佐（1991年 3 月まで）
 1993年 4 月 大阪経済大学教養部副部長（1995年 3 月まで）
 1995年 4 月 大阪経済大学教養部長（1997年 3 月まで）
 1999年 5 月 大阪経済大学教務部長（2000年10月まで）
 2000年11月 大阪経済大学教務委員長（2003年 4 月まで）
 2003年 4 月 大阪経済大学人間科学部長（2004年 4 月まで）
 2007年12月 大阪経済大学副学長（2010年10月まで）

競技歴

- 1971年 7 月 全日本ウェイトリフティング選手権 ミドル級 優勝
 1972年10月 国民体育大会ウェイトリフティング競技 ミドル級 優勝
 1972年11月 全日本社会人ウェイトリフティング選手権 ミドル級 優勝
 1975年 5 月 日韓親善ウェイトリフティング競技大会 ミドル級 優勝

Ⅱ．業 績 目 録

著 書

人間科学の新展開 ミネルヴァ書房 共同執筆 2005年7月

論 文

1. 本学学生の体力・運動能力についての一考察. 大阪経大論集 127, 128号, 1979年3月
2. ラグビースクラムにおける Shoving Power についての一考察. 大阪経大論集 127, 128号 1979年3月
3. 本学学生の体力・運動能力についての一考察(Ⅱ). 大阪経大論集 134号 1980年3月
4. Improved treadmill to avoid foot and tail injuries of small animals. *Experientia* 38(1) 1982年1月
5. 冬季における運動実施時の安全確保に関する基礎的研究. デサントスポーツ科学 5巻 1984年6月
6. 主として腕労作による運動時発汗量に及ぼす着衣条件の影響に関する部位別検討. 体育学研究集録 14巻 1985年6月
7. 運動時発汗量に及ぼす着衣条件の影響に関する部位別検討. 体育学研究集録 14巻 1985年6月
8. Simple method for measuring leg muscular endurance. *Journal of Sports Medicine* 26(3) 1986年9月
9. Improved estimation of total oxygen uptake in exercise by evaluation of aerobic fitness. *European Journal of Applied Physiology* 56(2), 1987年4月
10. 高齢者の運動習慣を確立するための基礎的研究. 大阪ガスグループ福祉財団研究報告集 1巻 1988年3月
11. A practical method for estimating total oxygen uptake during exercise in old men. *Journal of Human Ergology* 18(1): 13-22, 1989. 6.
12. Aging process of leg muscular endurance in males and females. *European Journal of Applied Physiology* 59(3), 1989年10月
13. Estimation of total oxygen uptake in women during exercise by total heart beats and aerobic fitness. *Journal of Sports Medicine* 30(2), 1990年6月
14. 脚筋持久力の性, 年齢別標準値 体力科学 39(4), 1990年8月
15. 中・高年者の主観的運動強度を運動処方へ適用するための基礎的研究 教育医学 36(3), 1990年12月
16. Regional differences in the sweating responses of the older and younger men. *Journal of Applied Physiology* 71(6), 1991年12月

17. Thermoregulatory responses of young and older men to cold exposure. *European Journal of Applied Physiology* 65(6), 1992年12月
18. 高齢者の体温調節能の個人差と体格・体力, 日常衣内温度及び運動習慣との関連. 小野スポーツ科学 2巻, 1994年12月
19. 高齢者の暑熱寒冷反応に及ぼす体格, 有気体力, 日常歩行量, 衣服内温度の影響. 日本生気象学雑誌 31(4), 1994年10月
20. 脚筋持久力からみた健康と運動—高齢者の行動量と自覚的健康観について—. 大阪体育学研究 33巻, 1994年12月
21. Seasonal variation in sweating responses of older and younger men. *European Journal of Applied Physiology* 70(1), 1995年
22. Longitudinal study of the effect of high intensity weight training on aerobic capacity. *European Journal of Applied Physiology* 70(1), 1995年
23. Muscle length alters geometry of arterioles and venules in hamster retractor. *American Journal of Physiology*. 268 (Heart and Circulatory Physiology. 37), 1995年
24. Seasonal variation in physiological responses to mild cold air in young and older men. *International Journal of Biometeorology*, 38, 1995年
25. Prediction of maximal oxygen uptake by squat test in men and women. *Kobe Journal of Medical Sciences*, 42(2) 1996年
26. Regional differences in the Na⁺ reabsorption of sweat gland. *Applied Human Science*, 17(5) 1998年 8 月
27. 高齢者の転倒事故を防ぐための基礎的研究—加齢と下肢筋力及び起立性低血圧の関係—, 大阪ガス福祉財団研究調査報告集 12巻, 1999年
28. 日常生活行動のエネルギー消費量について (Energy consumption of behavior in daily living). 近畿大学教養部紀要: 32(1) (2), 2000年12月
29. 日常生活行動改善のための動機づけについて—Lifecorder の測定記録を用いて—. 大阪経済大学教養部紀要: 18巻, 2000年12月
30. 学生の日常生活行動について—各動作の占める割合—. 大阪経済大学教養部紀要, 19巻, 2001年12月
31. 季節変動が身体活動量に及ぼす影響. 大阪経大論集: 53(6), 2003年 3 月
32. 高強度の筋力トレーニングが下腿血流量に及ぼす影響. 大阪経大論集: 53(6), 2003年 3 月
33. A trial for the improvement of daily-living behavior using a calorie counter. *The Research Bulletin of Health and Sports Sciences, Institute of Health and Sports Sciences Kinki Univ.* 2(1), 2003年 7 月
34. 各季節における身体活動量について. 大阪経大論集: 55(6), 2005年 3 月
35. 一回のレジスタンスエクササイズが運動後24時間の血圧に及ぼす影響. 大阪経大論集 56(6), 2006年 3 月

36. 男子大学生の矢状面における脊柱彎曲の時代的变化. 大阪経大論集 58(2), 2007年7月
37. 妊娠が歩行動態に及ぼす影響について. 大阪経大論集 58(2), 2007年7月
38. 大都市における中高年者健康教室の取り組み～大阪経済大学「きさんじ塾」の成果について～. 人間研究2号, 2008年3月
39. 健康教室「きさんじ塾」と地域ネットワーク. 人間研究2号, 2008年3月
40. 妊婦歩行に関する考察～床反力からみた特徴について～. 大阪経大論集 58(7), 2008年3月
41. エネルギー消費量に影響を与える要因について. 大阪経大論集 59(6), 2009年3月
42. 姿勢の評価に関する研究. 大阪経大論集 60(6), 2010年3月
43. スローレジスタンストレーニングの効果と安全性の検討. 大阪経大論集 62(6), 2012年3月

研究ノート

1. 20 m シャトル・ラン・テストについて. 大阪経大論集 57(6), 2007年3月
2. Preparatory cardiovascular and respiratory responses to cycle exercise. 大阪経大論集 60(1), 2009年5月

学会発表

1. 市民スポーツとしての六甲全山縦走 2. 平素のハイキングおよび早朝登山の効果. 第20回日本公衆衛生学会近畿地方会 1980年
2. 六甲全山縦走の体力医学的検討 3. 全縦大会についてのいくつかの問題点. 第36回日本体力医学会 1981年
3. 脚伸展筋持久力における簡易測定法の試案. 第32回日本体育学会 1981年10月
4. 脚伸展筋持久力の年齢的推移について. 第33回日本体育学会 1982年10月
5. 運動時の積算心拍数による総酸素摂取量の有酸素系能力に応じた推定法. 第38回日本体力医学会 1983年9月
6. 急激な環境温度の変化が運動時の呼吸循環及び体温調節反応に及ぼす影響. 第39回日本体力医学会 1984年9月
7. 急激な環境温度変化下の運動並びに安静時の呼吸循環及び体温調節反応に及ぼす運動鍛錬の影響. 第40回日本体力医学会 1985年9月
8. ウェイトトレーニングが有酸素能力に及ぼす影響. 第41回日本体力医学会 1986年9月
9. 高齢者の有気体力レベルに応じた運動時総酸素摂取量の推定式. 第42回日本体力医学会 1987年9月
10. 高齢者における運動時総酸素摂取量の推定. 第2回日本体力医学会 近畿地方会 1988年2月

11. 中・高齢者の主観的運動強度を運動処方へ適用するための基礎的研究. 第43回日本体力医学会 1988年10月
12. 高齢者の健康意識や行動量に及ぼす脚筋持久力の影響. 第45回日本体力医学会 1990年9月
13. Muscle length influences microvascular configuration in vivo. The Microcirculatory Society, 39th Annual Meeting, (Anaheim Convention Center, California, USA) 1992年4月
14. 脚筋持久力からみた健康と運動—高齢者の行動量と健康意識—. 大阪体育学会シンポジウム, (テーマ「健康と運動・スポーツ」), 1993年12月
15. 高齢者における発汗反応の経年的変化. 第50回日本体力医学会 1995年9月
16. 環境温上昇時における児童・若年成人・高齢者の発汗・皮膚血流応答. 第4回日本運動生理学会 1996年7月
17. 高齢者における運動時の発汗反応. 第54回日本体力医学会 1999年9月
18. 運動ストレスによる活性酸素生成と生体防御. 第54回日本体力医学会 1999年9月
19. 運動負荷前後における血漿 von Willebrand 因子の変化. 第55回日本体力医学会 2000年9月
20. 高齢者における健康教室での運動トレーニングが唾液中 sIgA・コルチゾルに及ぼす影響. 第66回日本体力医学会2011年9月